



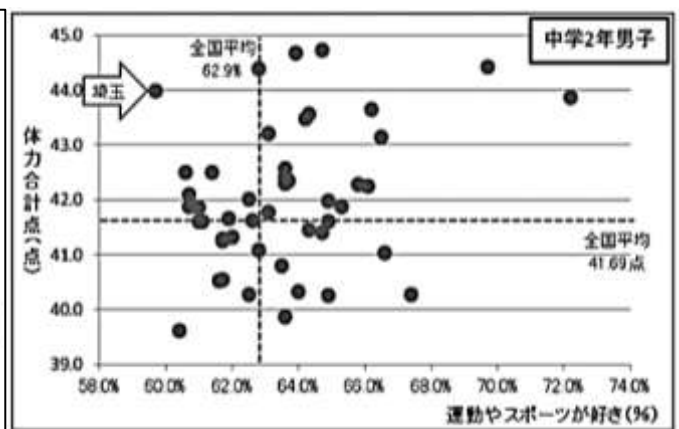
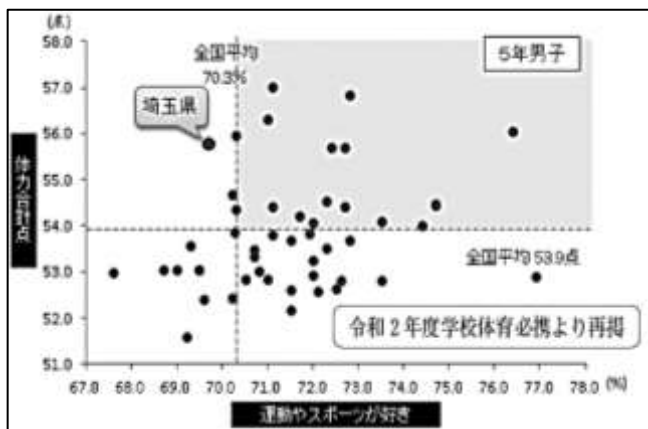
# ★埼玉県の目指す体育授業



埼玉県マスコット「コバトン」

## 学習規律を確立させ、 かっぱい運動し、思いっきり汗をかく 『楽しい』体育授業

※平成30年度より「楽しい」が加わりました。全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から埼玉県は情意面に課題がうかがえます。【令和3年度学校体育必携 P. 18, 24, 64 参照】



※体育授業を通して運動好き、スポーツ好きを育てる必要があります。「楽しい」の意味をはき違えず、単元を通して児童生徒一人一人が運動の特性に応じた「できた」「分かった」「関わった」を実感し、伸びや喜びを積み重ねる中で得られる「質の高い楽しさ」を味わえるようにしていくことが重要です。

### 運動の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わわせる【授業の基盤】

- その運動の持ち味（その運動でなければ味わえない楽しさや喜び）
- その運動の価値（その運動でなければ養えないもの）

#### 運動の「機能的特性」を特に重視！

※令和3年度学校体育必携 P.20「運動の特性を踏まえた授業づくり」参照

#### 体育授業における楽しさや喜び

- ①動く（活動する）楽しさ 【運動（活動）欲求】
  - ②伸びる楽しさ 【向上欲求】
  - ③分かる楽しさ 【知的欲求】
  - ④集う楽しさ 【集団所属欲求】
  - ⑤つくる・工夫する楽しさ 【創造欲求】
  - ⑥認められる楽しさ 【承認欲求】
- （平成28年度学校体育必携 P.7 参照）

□ 1単位時間のねらいの明確化

□ 1時間1時間のつながりを感じられるような学習過程の工夫

＜重要な視点＞資質・能力の3つの柱をバランスよく育む

## 体育授業で運動好き・スポーツ好きを育てる

# 楽しさや喜びを積み重ねる「1時間1時間のつながりを意識した」 指導と評価の計画に向けて

【令和2年度学校体育必携 P. 27～28、令和3年度学校体育必携 P. 21～22 参照】

<キーワード>

- 運動の特性・発達の段階を十分踏まえる
- 単元のゴール像の明確化
- 授業前（単元前）にもっている力で楽しむ
- 単元を通して「楽しさ」「喜び」を積み重ねる

※小学校体育の内容ですが、中学校等の先生方にも意識してほしい視点がたくさんあります。

例	1	2～	X	
	<p style="text-align: center;"><b>単元や運動との 出会い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しさを味わう</li> <li>・今の力で行う</li> </ul> <p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かめの運動</li> <li>・試しのゲーム</li> <li>・みんなができる運動 など易しい運動</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">                         やって楽しい                     </div>	<p style="text-align: center;"><b>共通に学ばせること (児童に教えること)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の技に取り組む</li> <li>・共通の課題で取り組む</li> <li>・みんなでやってみる</li> <li>・個人やペア、グループの スキルアップに取り組む</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>自主的・主体的に 学ばせること (児童に委ね、考えさせること)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展技に取り組む</li> <li>・挑戦意欲をかき立てる課題に 取り組む</li> <li>・選んだり、決めたりした活動 に取り組む</li> <li>・チームが勝つための学習、グ ループの発表に向けて取り組 む</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">                         できて わかって かかわって                     </div>	<p style="text-align: center;"><b>成果の確かめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伸びた喜びを 味わう</li> <li>・高めた力で行う</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の伸びやチー ム、グループの成果 を確認し、振り返り を行う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">例：発表会 等</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">                         もっと楽しい                     </div>
	授業前にもっている力で	単元を通して一人一人に 「伸び」や「喜び」を味わわせる	授業で高まった姿で	

	✓
①毎時間の学習が、児童の興味・関心を欠いた単調な運動の繰り返しになっていないか	
②自ら課題を見付け、その解決に向けて取り組む学習過程を意識しているか※1(次のページ参照)	
③学習カードや児童の様子、発言などから前時の授業を教師が振り返り、次時以降の意図的・計画的な働きかけに生かそうとしているか(学習評価を児童生徒・教師の授業改善につなぐ)	
④授業開始後、準備運動に入る前に、前時の授業を振り返る場面があるか (単元全体の本時の位置付けの確認、見通しをもたせること、意欲の喚起につなぐこと、有意義な準備運動にすること)	
⑤対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面を意図的に設定しているか	
⑥教師が教える場面と児童が考える場面を工夫して学習過程を設定しているか	
⑦毎時間設定した「本時のねらい」が、つながりのないものになっていないか	
⑧感覚づくりの運動※2(次のページ参照)について質の高さと運動量を確保し、単元を通して扱ったり、段階的に扱ったりしているか	
⑨本時の達成感、満足感、次時への期待感をもたせて授業を終えているか	
⑩「できる」を目指すことを軽視していないか(技能偏重はよくないが、「できる」を目指すことで「知りたい、真剣に課題を発見する、本気で考える、本気で伝え合う、粘り強く取り組む、友達と頑張りたい、もっとやりたい」が派生する)	

※1 2019年度学校体育必携 P15 より



※2【感覚づくりの運動】体育授業を支える運動、主運動につながる基礎的・基本的な運動

<よよい授業のための7ポイント>

◎感覚づくりの運動を大切に、主運動につながる**基礎技能**をしっかり身に付ける

- 音楽に合わせてローテーションで運動をこなす、流すことに重点が置かれていませんか
- 時間内に流すことばかりを意識し過ぎて、個別指導がおろそかになっていませんか

※技能ポイントをしっかりと押さえて指導し、わずかな伸びも見取り、積極的にフィードバックしていきましょう。児童生徒の**伸びの実感**や**運動への自信**、**自己肯定感の高揚**や**運動意欲の向上**など、**情意面**に大きく影響していきます。

活気があり、学びがあり、伸びがあり、歓声がある体育授業を!

「東部教育事務所HP」  
を是非参考に!!

★校内研修等で御活用いただけるコンテンツも豊富!参考となる学習指導案も随時更新中!

学習指導案(東部教育事務所「参考となる学習指導案集」)

指導資料等(「健康教育」についてはこちらをクリック→★)

東部教育事務所作成資料

- ・よよい「体育授業」を目指して(2) (東部教育事務所)
- ・小学校における体育科研究に向けての参考資料 (東部教育事務所)
- ・よよい「体育授業」を目指して～体育授業改善のポイント～ (東部教育事務所)
- ・「新体力テスト」の効果的な活用を目指して～活用のポイント～ (東部教育事務所)
- ・東部教育事務所「3つのお楽しみ」(新体力テスト、体育授業のポイント) (東部教育事務所)
- ・体育的活動時のライン引きについて (東部教育事務所)
- ・体育授業の「言葉かけ」について (東部教育事務所)
- ・数値運用場としてのチェックポイント【中学校・保健体育】 (東部教育事務所)



スマホ等でもQRコードから閲覧できます!

# 1 単位時間における学習指導の質的改善のために

※中学校体育の内容ですが、小学校等の先生方にも意識してほしい重要な視点がたくさんあります。

【令和3年度学校体育必携 P.28 参照】

学習段階	項目・チェックポイント	例示・留意点等								
導 入	<b>①ねらいの明確化</b> <input type="checkbox"/> 本時は、生徒に何を身に付けさせるのが明確になっているか。 <input type="checkbox"/> 本時のねらいを生徒に明確に示しているか。 <input type="checkbox"/> 生徒が、本時について単元全体での位置付けや前時からのつながりを意識できているか。 <input type="checkbox"/> 生徒が本時の見通しをもつことができているか。	ねらいの例： 第2学年 球技（バレーボール） 「肩より高い位置からボールを打って相手コートへ返そう。」 （知識及び技能）								
	<b>②感覚づくり運動の重視</b> <input type="checkbox"/> 主運動につながる基礎的・基本的な運動を厳選しているか。 <input type="checkbox"/> 生徒が主運動とのつながりを理解し、目的意識や必要感を持ちながら取り組んでいるか。 <input type="checkbox"/> 運動量の確保、ケガの防止を考慮しながら、動きの習得に努めているか。	感覚づくりの運動の例： 第1学年 武道（柔道） 投げ技につながる運動 けんけん、おんぶ など 固め技につながる運動 腹ばい前進、エビ など								
展 開	<b>③思考を促す「発問」を工夫</b> <input type="checkbox"/> 本時のねらいに迫る発問により、生徒が自ら考え、動きを通して気付かせる活動と時間を保障しているか。	発問の例：第1学年 陸上競技（ハードル走） 「勢いを落とさずにハードルを越すためには、どこから踏み切るとよいですか。」								
	<b>④豊富な運動学習場面（運動量）を確保する。</b> <input type="checkbox"/> 本時の計画において、生徒が主体的に運動に取り組める時間を多く確保しているか。 <input type="checkbox"/> 学習規律を確立し、学び方や役割行動を明確に示して、励行や賞賛を行っているか。 <input type="checkbox"/> 教師の全体（一斉）指導の回数を精選し、短く簡潔に分かりやすく指導しているか	<table border="1"> <tr> <td>マネジメント(M)</td> <td>総時間の <b>20%以内</b></td> </tr> <tr> <td>学習指導(I)</td> <td>直接的指導(演示等)</td> </tr> <tr> <td>認知的学習(A1)</td> <td>話し合い、学習カード</td> </tr> <tr> <td>運動学習(A2)</td> <td>総時間の <b>50%以上</b></td> </tr> </table>	マネジメント(M)	総時間の <b>20%以内</b>	学習指導(I)	直接的指導(演示等)	認知的学習(A1)	話し合い、学習カード	運動学習(A2)	総時間の <b>50%以上</b>
	マネジメント(M)	総時間の <b>20%以内</b>								
学習指導(I)	直接的指導(演示等)									
認知的学習(A1)	話し合い、学習カード									
運動学習(A2)	総時間の <b>50%以上</b>									
<b>⑤「学び合い」(対話的な学び)の充実</b> <input type="checkbox"/> 「学び合い」の目的を明確にしているか。 <input type="checkbox"/> 具体的な「学び合い」の姿を示し、丁寧に指導しているか。 <input type="checkbox"/> ICT 機器や資料を使用する場合には、活用の仕方を具体的に示しているか。 <input type="checkbox"/> 気付いたことや考えたことを、言葉や動作、絵図、ICT 機器を活用して仲間に伝える方法を指導しているか。	意図的に学び合いの場面を作り出すことが大切である。生徒から表出された内容を掲示したり、ICT 機器を効果的に活用したりして共有するとよい。									
整 理	<b>⑥指導と評価の一体化を図る。</b> <input type="checkbox"/> 一貫して、ねらいに沿った指導と評価を繰り返しているか。 <input type="checkbox"/> 本時の評価基準を見取るための活動が、十分に設定されているか。 <input type="checkbox"/> 「努力を要すると判断される生徒への指導の手立て」を実行しているか。 <input type="checkbox"/> 基準に達している生徒には、「十分満足できると判断される状況の生徒の具体的な姿」を目指し、指導している。	指導と評価は別物ではなく、評価の結果によって後の指導を改善し、さらに新しい指導の成果を再度評価するという、指導に生かす評価を充実させることが重要である。								
	<b>⑦「振り返り」と「まとめ」の実施。</b> <input type="checkbox"/> 生徒が、本時のねらいに沿って自己の学習活動を振り返る時間を確保しているか。 <input type="checkbox"/> 教師が、生徒の言葉を使うなどして本時のねらいに正対したまとめを行い、次時の意欲喚起につなげているか。	本時で学ぶべき内容について、ねらいに正対したキーワード等を用いてまとめる。								

# 保健教育・食育の充実へ向けて

各学校における保健教育及び食育の充実へ向けて、養護教諭や栄養教諭等と連携を図りながら、文科省発行の改訂版「[保健教育の手引き](#)」や「[食に関する指導の手引き](#)」、埼玉県教育委員会発行「[令和3年度学校健康教育必携](#)」などを参考に、指導計画の見直しや授業改善をお願いします。



## 【体育・健康に関する指導のキーワード】

- 「運動領域との一層の関連を図る」
- 「食育」との関連
- 「関連の教科領域等を含めた学校教育活動全体を通じて行う」(合科的な指導の視点)



←新型コロナウイルス感染症に関して、中学生向けの教材ではありますが、小学校等第6学年保健分野「病気の予防」等にも活用できる資料です。是非、御覧ください。

※上記手引きも含めて文部科学省HPで公開されています。

# 体育・保健体育担当の先生方へ

★心身ともに健康で運動好きな児童生徒を育てるために体育主任の先生方のリーダーシップが不可欠です。

## ＜小・中学校等 共通事項＞

体育主任の先生が、学年等の体育担当の先生方と連携しながら、各教員がよりよい体育授業を実践できるようにサポートしてください。自身の体育の授業はもちろんのこと、自校の体育授業をよりよくしていこうとする視点を大切にしてください。

コロナ禍においては、必ず教師は「マスクを着用」しましょう。マスクを外す場合又はマスク以外のマウスシールド等を使用する場合は、必ず児童生徒との身体的距離を保ち、声の大きさ等に御留意ください。

指導計画の変更等を行った学習内容について、年度が改まっても安易にコロナ前の教材や指導計画をそのまま提示せず、子供の実態を見極め、無理のない指導計画で実施しましょう。また、感染状況に応じて、リスクの低い運動から弾力的に取り扱うなど、計画変更も必要になってきます。

## ＜中学校等＞

※特に、令和3年度体育必携 P.5～17に掲載の＜特集＞「新しい学習指導要領に基づく学習評価の改善」について、校内で研修等の機会を設け、情報共有を図るなど御活用ください。